

正誤表 (2026年1月31日現在)
 『臨時増刊 第3号 改訂3版 (2021年) 臨床化学』

この度は、上記書籍をご購入いただきましてありがとうございました。

以下の箇所に関して誤りがありましたので、ここに訂正とともに深くお詫び申し上げます。

頁	訂正箇所	誤	正
1	1. ピペットの使い方	<u>メスシリンダー、ピペット、ビュレットは出用量器である。</u>	<u>メスシリンダーは受用量器、ピペット、ビュレットは出用量器である。</u>
4	図14 少量採取の洗い込み法		削除
5	c. 注意点	2) <u>少量採取の洗い込み法</u> 少量 ($0.1\sim10\mu\text{L}$ 位) の採取液体を他の容器の液体中に排出する場合は、排出後、チップ内の試料を洗い込むことで高い精度が得られる (排出→吸引→排出を繰り返す) (図14)。	削除
34	【60回(午前)問題38】	血漿アンモニア窒素濃度A ($\mu\text{g/dL}$) を血漿アンモニア濃度B ($\square\text{g/dL}$) に換算する数式はどれか。 【解説】 血漿アンモニア濃度B ($\mu\text{g/dL}$) = B ($\square\text{g/dL}$) $\times 17/14$	血漿アンモニア窒素濃度A ($\mu\text{g/dL}$) を血漿アンモニア濃度B ($\underline{\mu\text{g/dL}}$) に換算する数式はどれか。 【解説】 血漿アンモニア濃度B ($\mu\text{g/dL}$) = B ($\underline{\mu\text{g/dL}}$) $\times 17/14$